

北区障害者地域自立生活支援室より

# 支援室だより

第67号(2014年8月発行)

【年6回偶数月月上旬発行】

## 相談窓口

〒114-0032 東京都北区中十条 1-2-18 障害者福祉センター内

TEL:03-3905-7225 TEL・FAX 兼用:03-3905-7226 E-MAIL:peernet@ma.kitanet.ne.jp

開所日時:月～金 10時～19時 土 10時～17時 \*日・祝・年末年始は休み

“支援室だより”は印刷されたもののほか、視覚に障害のある方のために、「ろくせいかい点字サークル六星会(福祉センタークラス)」のご協力で **点字版** を、「音訳グループやまびこ」のご協力で **音訳版** を作成しています。ご希望の方は支援室までご連絡ください。(TEL・FAX 兼用:03-3905-7226)

## 今号の内容

- 「北区障害者関係機関ガイドブック2014」が完成しました・・・・・・・・・・1
- ヨガ講座《後期》のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- ハンドメイド教室のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 「支援者へのバトン」が完成しました・・・・・・・・・・・・・・・・・・4・5
- 成年後見制度講座のご報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 【情報提供】バリアフリー映画会のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・7
- 【情報提供】国際福祉機器展2014のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・8

## 「北区障害者関係機関ガイドブック2014」が完成しました

「北区障害者関係機関ガイドブック2014」が完成いたしました。

区内にある障害者関係機関の詳細や特徴などを1ページにまとめて記載しています。

こちらは無料で差し上げますので、ご希望の方は支援室までお問い合わせ下さい。

なお、ガイドブックはNPO法人ピアネット北のホームページからも、ご覧いただけます。(http://www.peernet.or.jp/) こちらもご利用下さい。

北区障害者関係機関  
ガイドブック2014



NPO法人ピアネット北  
北区障害者地域自立生活支援室

# 健康講座 ヨガ～yoga～

回数	日程	場所	講座内容
第1回	9月22日(月)	機能訓練室	座って出来る体操、呼吸法、ストレッチ、有酸素運動等 車いすのままでも行えるプログラムです。 ※内容は変更する場合があります。
第2回	9月29日(月)	機能訓練室	
第3回	10月6日(月)	機能訓練室	
第4回	10月20日(月)	機能訓練室	

場 所： 障害者福祉センター 1階 機能訓練室

時 間： 14:00～15:30

対 象： 北区在住・在勤・在学の身体・知的・精神障害の方で、  
4回全てにご参加いただける方

講 師： 北区健康増進センター 健康運動指導士 齋藤ちひろ 氏

参加費： 無 料

服 装： 動きやすい服装でお越しください。

定 員： 15名（お申し込み多数の場合は、初めての方優先で抽選となります）

申込方法： 電話または、FAXにてお申し込みください。お申し込みの際に、①氏名、②住所、  
③電話番号、④障害名（障害の程度）、⑤年齢をお伝え願います。また、手話  
通訳が必要な方は、お申しつけください。



**締切** 9月13日(土)までにお申し込みください。

TEL & FAX 03-3905-7226

(受付時間：月～金 10:00～19:00、土 10:00～17:00)

# ハンドメイド教室



毎回、大好評をいただいているハンドメイド教室を開催します！

これまでに、風鈴やクリスマスリース、カレンダーなどの工作とカレーライス、クリームシチューの昼食を作ったりしました。

みんなでワイワイ手作りを楽しみませんか！？

### 【日 程】

第1回	9月20日(土)	14:00~16:00	簡単な手芸・工作を行います
第2回	10月4日(土)		
第3回	10月18日(土)	10:00~13:30	昼食を作ります

【場 所】 障害者福祉センター2階 北区障害者地域自立生活支援室

【対 象】 区内在住・在勤・在学の、「愛の手帳」をお持ちの方で一人での参加が可能な方。全3回参加可能な方。

※初めて参加の方のみ、ご記入いただきたい書類がございますので、初回時に保護者の方も一緒にお越しください。所要時間は10分程度です。ご来室が難しい場合は別途ご相談ください。以前に参加されていた方で、書類への記入がまだの方もお手数ですがご来室ください。

【定 員】 6名(定員を超えた場合は抽選)

【参加費】 一回毎に300円(材料費など)

【持ち物】 エプロン・三角巾、ハンドタオル

【申込方法】 9月6日(土)までに、電話(3905-7226)にてお申込みください



## 「支援者へのバトン」が完成しました

昨年度から支援室で作成しておりました「支援者へのバトン～障害がある人の親の気持ちを綴るための書き込み式記録帳～」が完成しました。障害がある方のご両親が、自分たちの亡き後に備えて、お子さんの状況や将来への希望を記録するためのものです。今号では、「支援者へのバトン」の内容や使い方をご紹介します。



### 支援者へのバトン

～障害がある人の親の気持ちを綴る書き込み式記録帳～

#### 障害がある我が子の生活を、だれに、どう引き継ぎますか ー？

お子さんの介助の方法、日々の生活状況、将来の生活に対する希望などをまとめる記録帳です。介助する際に気をつけてほしいこと、洋服の選び方、おこづかいの管理、休日の過ごし方、定期的に出かける場所等、長く接してきた親にしかわからないことはたくさんあります。自身の亡き後について考えるのは簡単ではありませんが、万一があってからでは間に合いません。できることから将来への準備を進めていきましょう。

【対象】 重度重複障害、知的障害がある方のご両親

※障害がある方のご両親が、お子さんの状況について記入するものです。  
親自身のエンディングノートではありません。

【構成】 第1部～第3部の書き込み式記録帳と、資料編から成っています。

第1部 本人のプロフィールや日常の生活について

第2部 医療や福祉サービスについて

第3部 将来の暮らしに対する希望

資料編 成年後見制度の利用、ヘルパー利用に関するご案内、等

コピー書類一覧表（保存しておくとう便利な書類が一覧になっています）

【記入方法】 各項目の解説、記入例に沿って必要事項を記入します。福祉サービスの利用状況等、書類がある場合は、コピーを入れておきます。

【保管方法】 記録帳をファイルなどにまとめ、場所を決めてしまっておきます。兄弟姉妹や親戚、通所・入所施設の担当者に記録帳があることを伝えておくと、万一の時にも安心です。

【配布場所】 「支援者へのバトン」は支援室にて無料でお渡ししております。  
ご希望の方はお気軽にご連絡ください。

【内 容】

第1部 ～こんな生活を送っています!!～

1. 自己紹介
2. 家族・親戚
3. 仲のいい人・お世話になっている人
4. 私の個性・好きなこと
5. 日常生活の状況
6. 一日の過ごし方
7. 年間予定表

わかりやすい  
記入例つきです

更衣				
更衣	全介助	一部介助	要見守り	自立
服のサイズ	肌着：S M L LL その他（ ） 上：S M L LL その他（ ） 下：S M L LL その他（ ） 靴下：サイズ（ ） 靴：サイズ（ ）			
介助の方法・注意すること	例：洋服を渡せば着替えはできる、洋服は〇〇で購入等			
衣服の管理・洗濯	一人でできる	介助があればできる	できない	
できること・介助があればできること	例：日々の洋服は一人で選べる、季節ごとの入れ替えには介助が必要、介助があれば洗濯物をたたんでしまうことはできる、等			

2-4. 年金・手当の記録

年金・各種手当の記録を記入しましょう（コピーを入れることもできます）

制度の種類	取得年月日等	窓口連絡先
障害基礎年金	取得年月日： 年金番号：	
心身障害者 福祉手当 (区の制度)		
重度心身 障害者手当 (都の制度)		

第2部 ～医療・福祉情報～

1. 医療の記録
2. 今までの主な病気の記録
3. 障害福祉サービス介・護保険サービスの記録
4. 年金・手当の記録
5. 補装具の記録

福祉制度利用の書類があれば  
コピーを入れます。手書きも可

第3部 ～将来はこんな暮らしをしたい!～

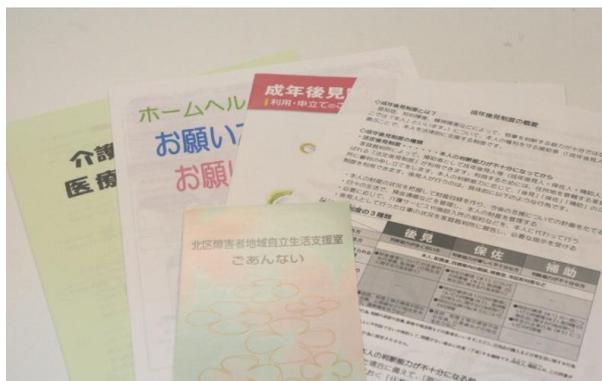
1. 住まいに対する希望
2. インフォームド・コンセントに対する希望
3. 延命治療に対する希望
4. 後見人に対する希望
5. 生活収支に関するプラン
6. 遺言に対する希望
7. お葬式に対する考え

将来の計画は  
項目ごとに整理

3-4. 後見人に対する希望

後見人に対する希望を記入しましょう（後見制度の資料を参考！）  
任意後見制度と法定後見制度などの希望

後見制度の希望	
<input type="checkbox"/>	法定後見制度を希望
<input type="checkbox"/>	任意後見制度を希望
<input type="checkbox"/>	日常生活自立支援事業を希望
<input type="checkbox"/>	とくに希望しない



資料編

- ・成年後見制度
- ・ホームヘルパーにお願いできること  
お願いできないこと
- ・介護職員が行える医療的ケアの範囲
- ・北区障害者地域自立生活支援室ごあんない

## 成年後見制度講座のご報告

6月13日に「成年後見制度のABC」、7月2日に「障害者の成年後見制度」と2回連続の講座を開催しました。

### 「成年後見制度のABC」

第1回目の講座では、北区社会福祉協議会 権利擁護センター「あんしん北」のセンター長小原氏よりお話しいただき、成年後見制度の概要、利用の仕方、手続きの流れ、財産管理のための準備についてなど、基本的な知識を学びました。



### 「障害者の成年後見制度」



第2回目の講座では、権利擁護センターばあとなあ東京の小川氏をお招きし、お話しをお伺いしました。小川氏は、障害者の方の後見人を務められていて、社会福祉士という立場から特に身上監護に力を入れた活動をなさっています。

#### 【身上監護とは】

身上監護には事実行為と法律行為があり、成年後見人の身上監護には事実行為は含まれません。つまり成年被後見人への実際の介護行を成年後見人が行うのではなく、成年後見人が介護サービス提供事業者等と契約し、適切なサービスが供給されるよう手配することが成年後見人の仕事となります。

また、契約締結後もそのサービスが適正になされているか、サービスの過不足はないか、在宅での生活に無理はないか、施設入所にあたっては収入・支出、資産の状況から本人に合った施設はどこか、など継続的に本人を支えていく必要があります。そのためには福祉や医療の関係者と連携し、本人の日常生活に関心を持ち続けていくことが大切となります。

小川氏の日々の活動のお話しの中で、特に興味深かったのは「成年後見人の立ち位置」についてのお話しでした。成年後見人は「支援者」の立場に見られがちですが、あくまでも「本人」の立場に立って支援をしています。つまり“本人の意思の尊重”、“本人の最善の利益を考える”ことを基本としています。後見人がそのように支援できるように、本人がどのような生活を望んでいるのか、どんなことをしたら喜ぶのかなどの情報をご家族の方には、書き残しておいてほしいとおっしゃっていました。





## バリアフリー映画会のご案内

「見ること」、「聞くこと」が不便な方と一般の方が、映画と一緒に楽しめる上映会が開催されます。この上映会では、映画独自の音声のほかに、場面の音声ガイドを同時に流れます。(2種類の音声は会場内の皆様に聞こえます。) また、セリフと場面の日本語字幕が映し出されます。

今回の上映作品は「アニメ・ジュノー」です。原爆投下から間もない広島に 15 トンの薬品、医療器材を運び、自らも被災者の治療に当たったスイス人医師がいました。その「恩人」の名はマルセル・ジュノー。赤十字国際委員会 (ICRC) の駐日首席代表でした。博士の顕彰碑が平和記念公園内の片隅にあります。残念ながらその献身的な業績は多くの人々の知るところとなっていません。博士は ICRC の派遣員として戦火の広がる時代を駆け抜け、国や民族を超え数多くの尊い生命を救いました。知恵と勇気と粘り強い交渉力、そして何よりも人間に対する「愛」を武器にいくつもの絶望的状况を乗り越えました。ぜひこの機会にジュノー博士の足跡を辿ってみませんか。

【作品】アニメ・ジュノー

【日時】平成 26 年 9 月 7 日(日) 午後 2 時～3 時 30 分

【場所】中央図書館 3 階ホール

【制作】アニメ・ジュノー制作委員会



【内容】広島に原爆が落とされた際、救援活動に尽力し、“無償の愛、美しい心、不屈の精神”を貫いたスイス人医師ジュノー博士の偉業を現代の女子中学生の目を通して描いた長編アニメーションです。

【定員】50 名(抽選) 障害のある方優先

【費用】無料

【お申込】電話またはファクスで、8 月 20 日(水) (必着)まで。

※会場には手話通訳者がいます。

※日常付き添いを必要としている方は、付添人 1 人のみ入場できます。

【お問合せ・お申込先】 〒114-0033 北区十条台 1-2-5  
電話 5993-1125 ファクス 5993-1044  
中央図書館事業係



## 国際福祉機器展 2014のご案内

毎年、世界中の福祉機器が一堂に集まる「国際福祉機器展」。今年は下記の日程で行われます。なかなか見ることのできない福祉用具もたくさんあり、また実際に体験することもできます。この機会にぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

### 第40回 国際福祉機器展 H.C.R.2014

期日:2014年10月1日(水)～3日(金)

10:00～17:00

会場:東京ビッグサイト東展示ホール(有明)

入場料:無料

15カ国1地域  
580社の福祉機器を総合展示!



福祉機器展示以外にも、シンポジウムや講座が開催されます。

- シンポジウム「EU諸国の認知症政策の現状と課題(仮題)」  
10月2日(木) 13時～16時

- 「H.C.R.セミナー」福祉機器、保健・福祉、介護問題、料理に関する講座等を連日開催!  
詳しくは、H.C.R.のホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】一般財団法人保健福祉広報協会(H.C.R.2014事務局)

電話:03-3580-3052 FAX:03-5512-9798

ホームページ:<http://www.hcr.or.jp/>

## 編集後記

北区障害者地域自立生活支援室から“支援室だより”第67号をお送りしました。今年度も多くの関係機関のご協力を得て、「北区障害者関係機関ガイドブック」を発行することができました。法律や制度が目まぐるしく変わっている中で、少しでも皆様にわかりやすく伝えられるようにと内容をまとめています。ぜひご活用いただければ幸いです。

\* \* \* \* \*

今年の夏も厳しい暑さが続きますね。6月くらいには今年は冷夏になるなんて予想があり、少し過ごしやすい夏になるのかと期待していたのですが…。甘い考えだったようです。熱中症対策をしっかりと、気を付けて夏を楽しみましょう!☺

発行:北区障害者地域自立生活支援室 TEL&FAX:03-3905-7226